

今を万全にその時に備える

①

東海リスクマネジメント研究会（彦坂高司理事長）と豊橋商工会議所は、3月15日と16日に同会議所で第8回「防災フェア」を開く。本紙では、当日に向けてBCP（事業継続計画）に関する基礎的な知識や情報を3回に分けて紹介する。（天野武宏）

NPO法人東海リスクマネジメント研究会

同研究会は、企業などを対象に、災害のダメージを最小限に止め、より早く業務再開を図るために必要なBCPの普及啓発に務めている。

東三河では、2011以上の津波や震度8クラスの揺れに襲われる南海トラフ巨大地震の発生が心配されている。

災害に備えBCP普及

いつ襲われるのかわからない災害に対して彦坂理事長は、日頃から「緊急時の備え」と「被災直後の対応」などをまとめたBCPの作成を訴える。

しかし、BCPが必要だとは理解しても、「何をすればいいのか」「何から始めればいいのか」

など「わからないことだらけ」という企業や人も少なくなっている。彦坂理事長は、県のサイトからダウンロードできる「あいちBCPモデル」の活用を提案する。これは業種、規模、防災計画などを記してBCPを作成できるほか、各種企業の事例を見ることができ

毎年開催している防災フェア（昨年写す）



防災フェアは午前10時から午後5時半まで（2日目は午後5時まで）。防災に関する講演会、防災グッズ、各企業のBCPを展示する。また協賛金も募っている。問い合わせは同研究会（0533・85・9955）へ。